

平成 27 年(2015 年) 2 月 3 日<No-21>

長野県松本家畜保健衛生所
〒390-0851 松本市島内西川原 6931
TEL:0263-47-3223 FAX:0263-47-0101
E-mail:matsukachiku@pref.nagano.lg.jp
中信家畜畜産物衛生指導協会
TEL:0263-47-6789

かほだより

急告

はや 牛の呼吸器病が流行っています (RS ウイルスの関与を確認!!)



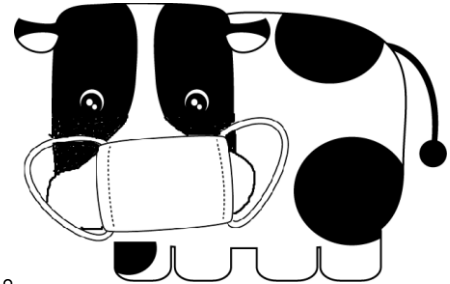
管内において、農場全体の牛で呼吸器症状を示す事例があり、検査の結果、牛RSウイルスの遺伝子が確認されています。

牛RSウイルスは、農場へ侵入すると同居牛への感染拡大が早く、細菌等の混合感染、ストレス等により、肺炎症状が重篤化し、死亡することもあります。

<牛 RS ウイルス病の概要>

◆ 症状

- ・ 5～6日継続する発熱。
- ・ 咳、鼻水、呼吸促迫などの呼吸器症状。
- ・ 伝播スピードが速い。(数日で牛舎内で蔓延。)
- ・ 乳牛では乳量の著しい減少。
- ・ 単独感染であれば、一般に発病後 15-20 日で回復し、予後は良好。
- ・ 細菌、マイコプラズマとの混合感染では症状が悪化。



◆ 治療法

補液・解熱等の対症療法が中心であり、ウイルスに対する有効な治療薬はありません。

◆ 予防と対策

- ・ 牛舎内外の清掃と消毒を徹底しましょう。
 - ・ 換気や寒冷ストレス等に注意し、飼養環境を良好に保ちましょう。
 - ・ 関係者以外の牛舎内への出入りを制限しましょう。
 - ・ 踏み込み消毒槽を設置し、利用しましょう。
 - ・ ワクチンが市販されていますので、接種することも有用です。
- ※ワクチン接種にあたっては、獣医師もしくは家畜保健衛生所にご相談ください。

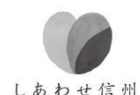
農場へのウイルス侵入阻止が重要(牛飼養者および畜産関係者へのお願い)

○同じ日に複数の農場を行き来する事は極力避けてください。やむを得ず複数の農場へ出入りする場合は、衣類の着替え、靴底の十分な洗浄と消毒、手指の消毒等の衛生対策を徹底して下さい。

(ご自身が病原体を伝播する可能性があることを常に意識して下さい!!)

韓国他東アジアを中心に継続的に口蹄疫の発生が確認されています。十分にご留意願います。

問い合わせ先：防 疫 課 宮澤、川島 (担当)



しあわせ信州